

前回定例会（令和7年1月8日）以降の資源エネルギー庁の動き

令和7年2月5日
資源エネルギー庁
柏崎刈羽地域担当官事務所

1. エネルギー政策全般

○「THINK! ニッポンのエネルギー」（広報）

- ▶ 新潟県内で「日本のエネルギー情勢と柏崎刈羽原子力発電所に係る説明会」を開催中
日本のエネルギー情勢やエネルギー政策における原子力発電の位置づけ等に関する説明会を新潟県内の各市町村で実施しています。

■開催実績

1/9 弥彦村、1/10 三条市、1/14 村上市、1/15 関川村、1/19 阿賀野市、1/21 聖籠町、1/22 阿賀町、1/23 五泉市、1/26 南魚沼市、1/28 田上町、1/29 加茂市、1/31 胎内市、2/2 粟島浦村（2/1の予定を変更）、2/5 津南町

1月28日 田上町での説明会の様子



■今後の予定

2/6 妙高市、2/7 湯沢町

▶ 新潟県内・首都圏の新聞で広告を掲載

(例：THINK!ニッポンのエネルギー09)

(例：THINK!ニッポンのエネルギー10)

THINK!ニッポンのエネルギー09

万が一の際の原子力災害への対応

原子力発電所は、原子力発電所法に基づき、原子力規制委員会が厳格な規制の下で運転されています。また、原子力発電所には、原子力災害発生時の対応に備えた様々な設備が設置されています。万が一の際の原子力災害発生時には、原子力規制委員会が、原子力発電所の状況を確認し、必要に応じて、原子力発電所の運転を停止させ、原子力災害発生時の対応を指示します。

Q. “私”はどう対応したらいいのでしょうか？

原子力発電所から発生する放射性物質は、風や雨によって、周辺地域に拡散することがあります。この場合、原子力発電所から発生する放射性物質の拡散状況を監視し、必要に応じて、原子力発電所の運転を停止させ、原子力災害発生時の対応を指示します。

Q. 自然災害と原子力災害が同時に起きたらどう対応するのでしょうか？

原子力発電所は、自然災害発生時の対応に備えた様々な設備が設置されています。万が一の際の原子力災害発生時には、原子力規制委員会が、原子力発電所の状況を確認し、必要に応じて、原子力発電所の運転を停止させ、原子力災害発生時の対応を指示します。

THINK!ニッポンのエネルギー10

主なご意見についてお答えします

今回は、原子力発電所の安全性に関するご意見をいただきました。ご意見を拝見し、原子力規制委員会の対応についてお答えいたします。

Q. 原子力発電所第一号機の安全性に関するご意見を拝見しました。原子力発電所第一号機の安全性を確保するために、どのような対策がとられていますか？

A. 原子力発電所第一号機の安全性を確保するために、原子力規制委員会が、原子力発電所の運転を監視し、必要に応じて、原子力発電所の運転を停止させ、原子力災害発生時の対応を指示します。

Q. 原子力発電所第二号機の安全性に関するご意見を拝見しました。原子力発電所第二号機の安全性を確保するために、どのような対策がとられていますか？

A. 原子力発電所第二号機の安全性を確保するために、原子力規制委員会が、原子力発電所の運転を監視し、必要に応じて、原子力発電所の運転を停止させ、原子力災害発生時の対応を指示します。

Q. 原子力発電所第三号機の安全性に関するご意見を拝見しました。原子力発電所第三号機の安全性を確保するために、どのような対策がとられていますか？

A. 原子力発電所第三号機の安全性を確保するために、原子力規制委員会が、原子力発電所の運転を監視し、必要に応じて、原子力発電所の運転を停止させ、原子力災害発生時の対応を指示します。

Q. 原子力発電所第四号機の安全性に関するご意見を拝見しました。原子力発電所第四号機の安全性を確保するために、どのような対策がとられていますか？

A. 原子力発電所第四号機の安全性を確保するために、原子力規制委員会が、原子力発電所の運転を監視し、必要に応じて、原子力発電所の運転を停止させ、原子力災害発生時の対応を指示します。

Q. 原子力発電所第五号機の安全性に関するご意見を拝見しました。原子力発電所第五号機の安全性を確保するために、どのような対策がとられていますか？

A. 原子力発電所第五号機の安全性を確保するために、原子力規制委員会が、原子力発電所の運転を監視し、必要に応じて、原子力発電所の運転を停止させ、原子力災害発生時の対応を指示します。

▶ TVCM、YouTube 等でも広報を実施 (TVCM は 1 月終了)

※説明会開催情報、新聞広告等は当庁 HP 内の「THINK!ニッポンのエネルギー」でご確認、ご覧いただけます。

■ THINK!ニッポンのエネルギー

https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/nuclear/001/event/nippon_ene/index.html

○武藤経済産業閣議後大臣記者会見（毎週火曜・金曜、エネルギー関連抜粋）

➤ 1月10日 柏崎刈羽原子力発電所 他

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2024/20250110001.html>

（柏崎刈羽原子力発電所）

（地元同意を得る見通しと意気込みについて）

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働については、現在、地元の御理解が得られるように県内全域での広報、あるいは住民説明会の実施など取組をまさに行っているところでありまして、現時点で御理解を得られる見通しを申し上げることについては適切ではないと思っております。引き続き、関係省庁と連携をしながら原子力防災対策の強化ですとか、丁寧なわかりやすい情報発信などを地域の実情を踏まえて丁寧に進めていくことが何よりも大事だと思っております。

そのほかの原子力発電所の再稼働の見通しにつきましては、原子力規制委員会による審査、安全対策工事の進捗などによって決まるものであります。御承知のとおりです。現時点で予断をもってお答えすることはできないと思っております。経済産業省といたしましては、引き続き、再稼働の加速化に向けて、審査知見の共有、あるいは人材の相互支援など、事業者間の協力を強化するように産業界に指導させていただきたいと思っております。

（説明会による地元理解の手応えについて）

まずは地元での御理解を進めていくことが最優先でこれ今やっていかなきゃいけない話で、いろいろな形で地域細かく説明会を開かせていただいて浸透させていただいているところだと思います。ですから、手応えという感覚ではなくて、一つ一つ丁寧にとにかく進めて、地元の御理解を得られるようにということだろうと思っております。

（説明会の重要性について）

地元の理解があつての話ですから、こういうことを更に地域とまた連携を取りながら重ねていくことに尽きるだろうと思っております。その結果として、規制委員会のオーケーが取れた、安全というものが認められたものについて、地元の御理解の上で先へ進めるということになると思っております。

➤ 1月31日 高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する対話型全国説明会における発言他

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2024/20250131001.html>

（高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する対話型全国説明会における発言）

御指摘の職員の発言につきましては、全く配慮に欠ける軽率な発言だったと考えております。

今後このようなことがないように、細心の注意を払いながら、丁寧な説明を徹底していく、改めてこの指導を省内にしたところでありまして、細心の注意を払った形での対応を進めていきたいと思っております。

○エネこれ（エネルギーの「これまで」と「これから」）

(1) 日本のエネルギー自給率は1割ってホント？【1月8日公開】

https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/first_learn_energy_self_sufficiency.html

(2) スマホを動かす電気ってどこからきているんだろう？【1月8日公開】

https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/first_learn_denki_dokokara.html

※「エネこれ」ホームページ

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/>

(当事務所でも紙媒体で配布しています)

※「みんなで考えよう、エネルギーのこれから (30秒 Ver.)」(YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=NrNNnZ0dLuA&t=9s>

●METI CHANNEL (当省のYouTube動画配信サイト)

<https://www.youtube.com/@metichannel/featured>

●資源エネルギー庁メールマガジン (配信登録)

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/mailmagazine/>

●統計ポータルサイト (エネルギーに関する分析用データ)

<https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/>

2. 事務所活動

○「日本のエネルギー情勢と柏崎刈羽原子力発電所に係る説明会」開催対応

弥彦村、三条市、五泉市、田上町、加茂市、胎内市での説明会の開催支援を行いました。

○(株)INPEX水素実証施設の現地調査(1月29日、柏崎市内)

国内初のブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験地上プラント設備の現地調査を行いました。

生産された水素のほとんどは、発電機(水素ガスエンジン)で電気に変えられ、IRエネルギーに供給予定



3基の発電機(中央)

3-1. 各種委員会開催状況等（エネルギー全般）

※該当する委員会等の開催はありませんでした。

3-2. 各種委員会開催状況等（電気・ガス事業関連）

○第 85 回 電力・ガス基本政策小委員会【1 月 27 日】

電力システム改革の検証結果と今後の方向性（案）等について報告・議論が行われました。

○第 2 回 原子力災害時の住民避難を円滑にするための避難路の整備促進に向けた協議の枠組み【1 月 29 日】

原子力災害時における避難路の優先整備、原子力発電所周辺地域における防災対策の充実・強化について議論が行われました。

（会合資料等）

https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/resident_evacuation/002.html

3-3. 各種委員会開催状況等（新エネ・省エネ他）

○第 47 回 省エネルギー小委員会【1 月 10 日】

更なる省エネ・非化石転換・DR の促進に向けた政策等について報告・議論が行われました。

○第 1 回 エネルギー小売事業者の省エネガイドライン検討会【1 月 10 日】

2024 年度の省エネコミュニケーション・ランキング制度の評価結果等について報告・議論が行われました。

○第 1 回 次世代電力システムワーキンググループ【1 月 23 日】

再生可能エネルギーの出力制御に関する短期見通し等について報告・議論が行われました。

○第 4 回 DRready 勉強会【1 月 28 日】

ヒートポンプ給湯機の DRready 要件（案）等について報告・議論が行われました。

○第 5 回 ガス・石油機器判断基準ワーキンググループ【1 月 29 日】

ガス温水機器の目標年度について（案）等について報告・議論が行われました。

○第 5 回 定置用蓄電システム普及拡大検討会【1 月 30 日】

定置用蓄電システム普及拡大検討会の結果とりまとめ（案）等について報告・議論が行われました。

○自動車判断基準ワーキンググループ取りまとめ【1月31日】

国土交通省の自動車燃費基準小委員会との合同会議において、小型貨物自動車のエネルギー消費性能の向上に関するエネルギー消費機器製造事業者等の判断の基準等の取りまとめが公表されました。

○第72回 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会【2月3日】

再エネ特措法に関する諸論点について報告・議論が行われました。

3-4. パブリック・コメント募集中案件（当省エネルギー関連）

○電力・ガス基本政策小委員会制度検討作業部会第19次中間とりまとめ（案）等に対する意見募集について【2月7日まで】

<https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/detail?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=620225001&Mode=0>

○グリーンイノベーション基金事業「CO2等を用いた燃料製造技術開発」プロジェクトに関する研究開発・社会実装計画（改定案）に対する意見公募について【2月17日まで】

<https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/detail?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=620225002&Mode=0>

○「電力の小売営業に関する指針（改定案）」及び「ガスの小売営業に関する指針（改定案）」並びにみなし小売電気事業者特定小売供給約款料金審査要領の一部を改正する訓令案等に対する意見公募について【2月27日まで】

<https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/detail?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=620125001&Mode=0>

※パブリック・コメント全体につきましては、e-GOVポータル「パブリック・コメント」をご覧ください。

（e-GOVポータル）

<https://www.e-gov.go.jp/>

（以上）